学校番号	４０８

平成 31 年度　芸術科（書道）

教科	芸術	科目	書道Ⅲ	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	「書道Ⅲ」　（東京書籍）						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・書道Ⅰ・Ⅱの学習を通して身につけた知識・技術を活用し、より高度な作品制作を行います。
・自身の作品や他人の作品の鑑賞に当たり、表現の意図について発表したり、互いに批評し合ったりすることで、自身の作品や他人を理解し、作品制作の完成度を高めることを目指します。
・現代社会に即した効果的な表現を工夫し、伝えたい意図と表現の一致を目指し、飾れる作品を制作することで達成感を味わい、書を愛好する心情を育てます。

2　学習の到達目標

書道の活動を通して感性を高め、生徒一人一人が自己実現を果たしていく能力を伸ばし、書作品を完成する充実感や達成感を味わえるようにし、生涯にわたり書を愛好する心情を育てる。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:書への関心・意欲・態度	b:書表現の構想と工夫	c:創造的な書表現の技能	d:鑑賞の能力
観点の趣旨	書の創造的活動の喜びを味わい、書の伝統と文化に関心をもって、主体的に表現や鑑賞の創造的活動に取り組もうとする。	書のよさや美しさを感じ取り、感性を働かせながら、自らの意図に基づいて構想し、表現を工夫している。	創造的な書表現をするために、基礎的な能力を生かし、効果的な表現の技能を身に付け表している。	日常生活の書の効用や書の伝統と文化について幅広く理解し、その価値を考え、書のよさや美しさを創造的に味わっている。
評価方法	観察 ワークシート ポートフォリオ 制作活動の様子	観察 ワークシート ポートフォリオ 提出作品	観察 ワークシート ポートフォリオ 提出作品	観察 鑑賞活動の様子 ワークシート ポートフォリオ レポート 提出作品

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4 学習の活動

月	題材名	学習内容・活動	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
4 5	仮名の書	・仮名創作(半紙) 平仮名・変体仮名 集字 連綿 散らし書き ・相互鑑賞会	○	○	○	○	a:これまでの学習を踏まえ、多様な仮名表現を活用し、主体性を持って作品制作に取り組んでいる b:仮名独特の表現を理解し、自己の表現を構想している c:表現の意図を考えながら、創作の手順にしたがって制作している d:作品制作を通して、仮名の美を感じ取り、互いの作品を鑑賞し、良さや美しさを創造的に味わっている	観察 ワークシート ポートフォリオ レポート 提出作品 鑑賞活動の様子
5 6 7	漢字の書	・古典臨書制作 (半切1/2) ・相互鑑賞会	○	○	○	○	a:漢字古典作品に関心をもち、自らの興味に応じた古典を選びとることができる b:選択した古典の臨書・鑑賞を通して、古典の表現技法を学ぶ c:表現技法の特徴を理解し、作品制作をしている d:漢字古典の美を感じ取り、互いの作品を鑑賞し、良さや美しさを創造的に味わっている	観察 ワークシート ポートフォリオ レポート 提出作品 鑑賞活動の様子
8 9	漢字の書	・共同大作制作 グループワーク 選文・検字 紙面構成 制作 ・相互鑑賞会	○	○	○	○	a:作品の構成と展開について、積極的に作品制作の参加にしようとしている b:構成等を工夫し、構想している c:作品の構成等を工夫し作品制作をしている d:構成等の工夫を感じ取り、互いの作品を鑑賞し、良さや美しさを創造的に味わっている	観察 ワークシート レポート 提出作品 鑑賞活動の様子
10	刻字	(はがきサイズ) 選文(漢字一字)・検字 彫刻 着色	○	○	○	○	a:立体書としての美の表現に興味・関心を深めている b:刻字の表現分野を理解し、表現の工夫をしている c:刻字の表現のため、刀法を身につけ、自己の表現活動に発展させている d:立体作品としての独特の美を感じ取っている	観察 ワークシート 提出作品

11 12	漢字仮名 交じり書	･選文･制作 ･相互批評会 ･裏打･表具 ･相互鑑賞会	○	○	○	○	a:漢字と仮名を調和する表現活動に、これまでの学習を踏まえ、意欲的・積極的に取り組んでいる b:漢字と仮名を調和する表現活動に表現の工夫をしている c:裏打ち・表装の方法・技術を磨き、飾る書作品として制作している d:他者の作品鑑賞を通して、飾る作品の良さを感じ取っている	観察 ワークシート ポートフォリオ レポート 提出作品
1 2	実用書	･硬筆 封筒･はがき表書き ･筆ペン のし書き	○	○	○	○	a:実用的な書表現について、知識面から理解し、表現活動を意欲的・積極的に取り組んでいる b:目的や用途に即した形式を判断し、それぞれに適した表現を工夫している。 c:実用的な表現をするための技能を身に付けている。 d:実用的な書表現の持つ効果を理解している。	観察 提出作品